

# Cisco Agent Desktop for IPCC Express で DESKTOP\_CFG の共有ドライブ マッピングを 自動化できない

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景理論](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[Cisco IPCC Express サーバ上にローカル ユーザ アカウントを作成する](#)

[Cisco IPCC Express サーバ上にローカル グループを作成する](#)

[DESKTOP\\_CFG 共有に権限を割り当てる](#)

[Cisco Agent Desktop ワークステーションでバッチ ファイルを作成する](#)

[ワークステーションのグループ ポリシーの編集](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、システム管理者が Cisco IPCC Express Edition 環境で Cisco Agent Desktop を使用して、エージェントに必要なドライブ マッピングの復元を自動化する方法について説明します。

注: このドキュメントでは、IPCC Express サーバがデフォルトの Microsoft Windows 2000 ワークグループ サーバ構成でインストールされており、Cisco Agent Desktop が Windows ドメイン内のワークステーションとしてインストールされていることを前提としています。

## 前提条件

### 要件

次の要件に精通している必要があります。

- Windows 2000 Server の管理
- Windows 2000 Professional の管理
- Windows XP Professional の管理

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IPCC Enterprise 3.1(x) 以降
- Cisco Agent Desktop
- Microsoft Windows 2000 Professional

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 背景理論

Cisco IPCC Express 環境において、ネットワーク用のサーバのデフォルトのインストールは、スタンドアロン Windows 2000 ワークグループ サーバ構成です。通常運用の一部として、エージェントの Windows ログインでは、Cisco Agent Desktop ログイン前に IPCC Express サーバ上の DESKTOP\_CFG という名前の永続的なネットワーク共有が復元されている必要があります。エージェントが IPCC Express サーバ上のローカル ユーザ アカウント認証情報を持っている場合、この共有マッピングが実現されます。

ワークグループ サーバ インストールの場合、このローカル ユーザ アカウント認証情報はエージェント企業ドメイン ポリシーと同期されません（パスワードを含む）。管理を簡素化するには、すべてのエージェントが IPCC Express サーバ上の同じローカル ユーザ アカウント認証情報を使用して、ネットワーク共有にアクセスできるようにします。さらに、このネットワーク共有にマッピングするために、Windows ログイン時にバッチ ファイルを実行すると、管理がより簡素化されます。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

IPCC Express 環境で、Cisco Agent Desktop を使用した、エージェントに関するドライブ マッピングが自動化されません。

## 解決策

この問題の解決方法を詳細に説明します。

### Cisco IPCC Express サーバ上にローカル ユーザ アカウントを作成する

1. IPCC Express サーバで、[Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Computer Management] をクリックします。
2. [Users] フォルダを選択して右クリックします。
3. [New User] を選択します。
4. [次のスクリーンショットに示すように、以下を入力します。](#) ユーザ名 Password[パスワード

の確認 ( Confirm Password ) ][ユーザはパスワードを変更できない ( User cannot change password ) ][パスワード期限なし ( Password never

The screenshot shows a 'New User' dialog box with the following fields and options:

- User name: ipccuser
- Full name: ipcc agent user
- Description: user account for ipcc CAD agent login
- Password: xxxxx
- Confirm password: xxxxx
- User must change password at next login
- User cannot change password
- Password never expires
- Account is disabled

Buttons: Create, Close

expires ) ]

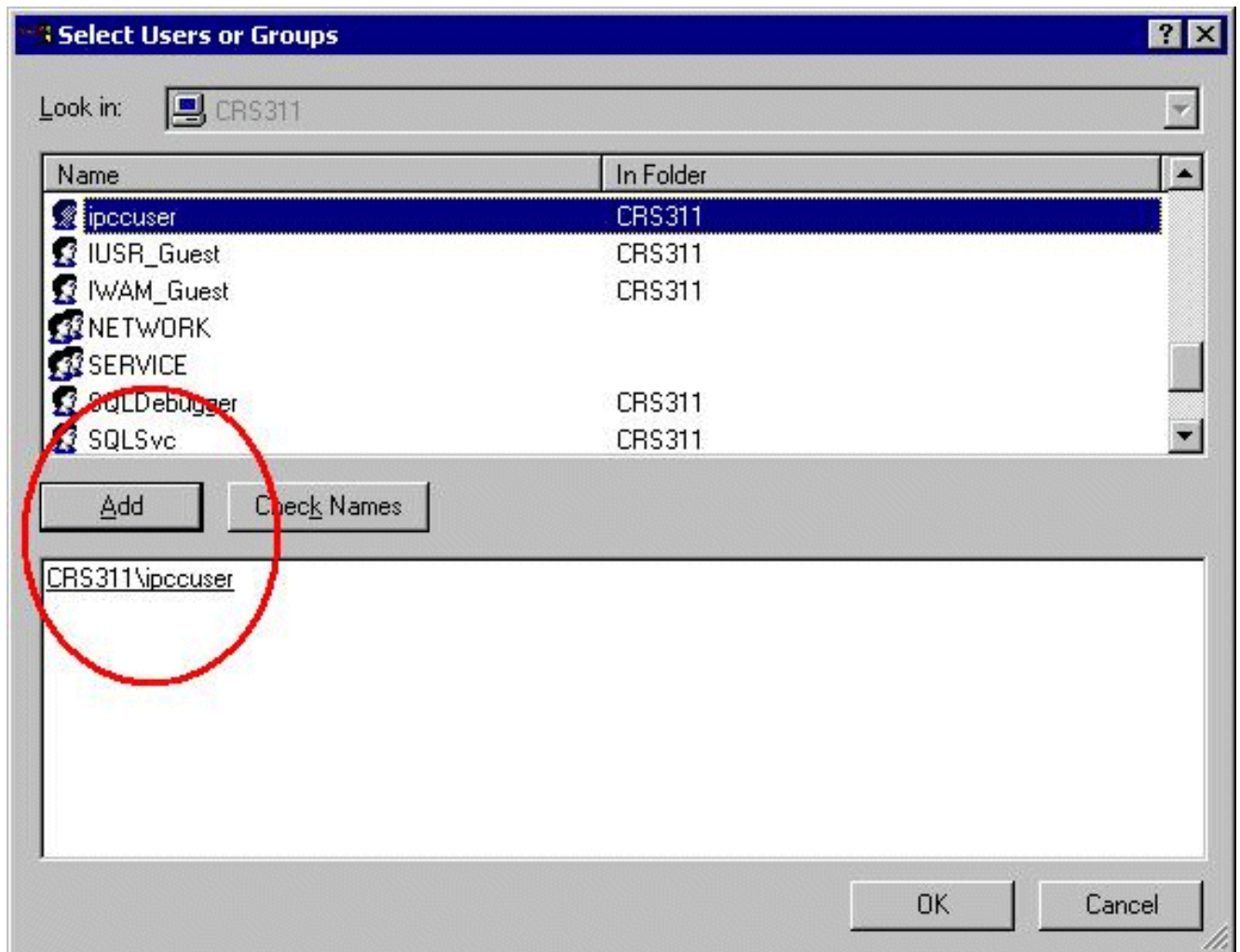
5. [Create] > [Close] をクリックします。

## Cisco IPCC Express サーバ上にローカル グループを作成する

1. IPCC Express サーバで、[Start] > [Programs] > [Administrative Tools] > [Computer Management] をクリックします。
2. Computer Manager から、[Local Users and Groups] を展開します。
3. [Groups] フォルダを選択し、右クリックします。
4. [New Group] を選択します。
5. [New Group] ウィンドウに表示されているように、以下の内容を入力します。グループ名



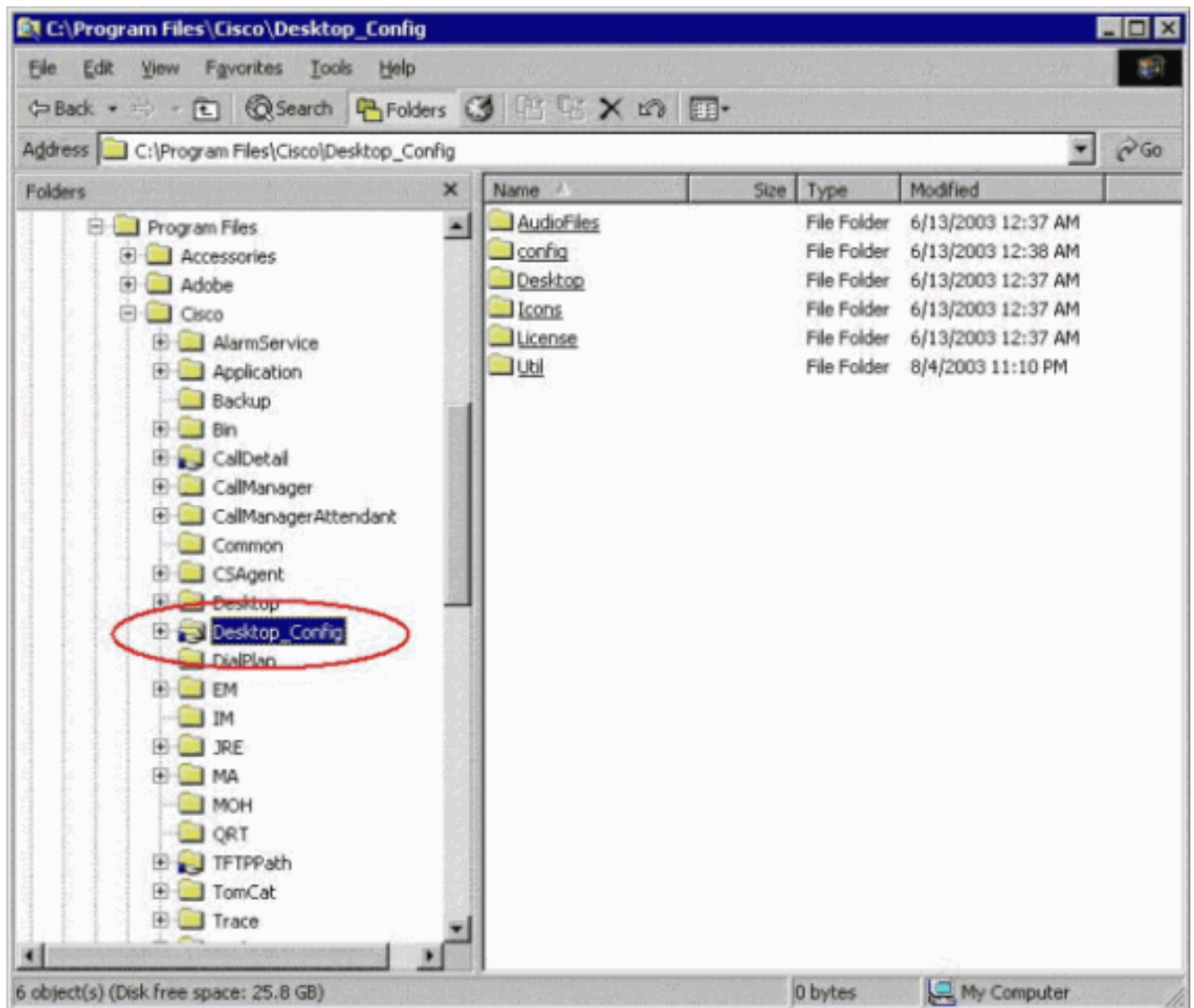
6. [Add] をクリックします。
7. [\[Select Users or Groups\] ウィンドウで、割り当てられた Cisco Agent Desktop ユーザ名を見つけて \[Add\] をクリックします。](#)



8. [OK] をクリックします。
9. [Create] をクリックして終了します。

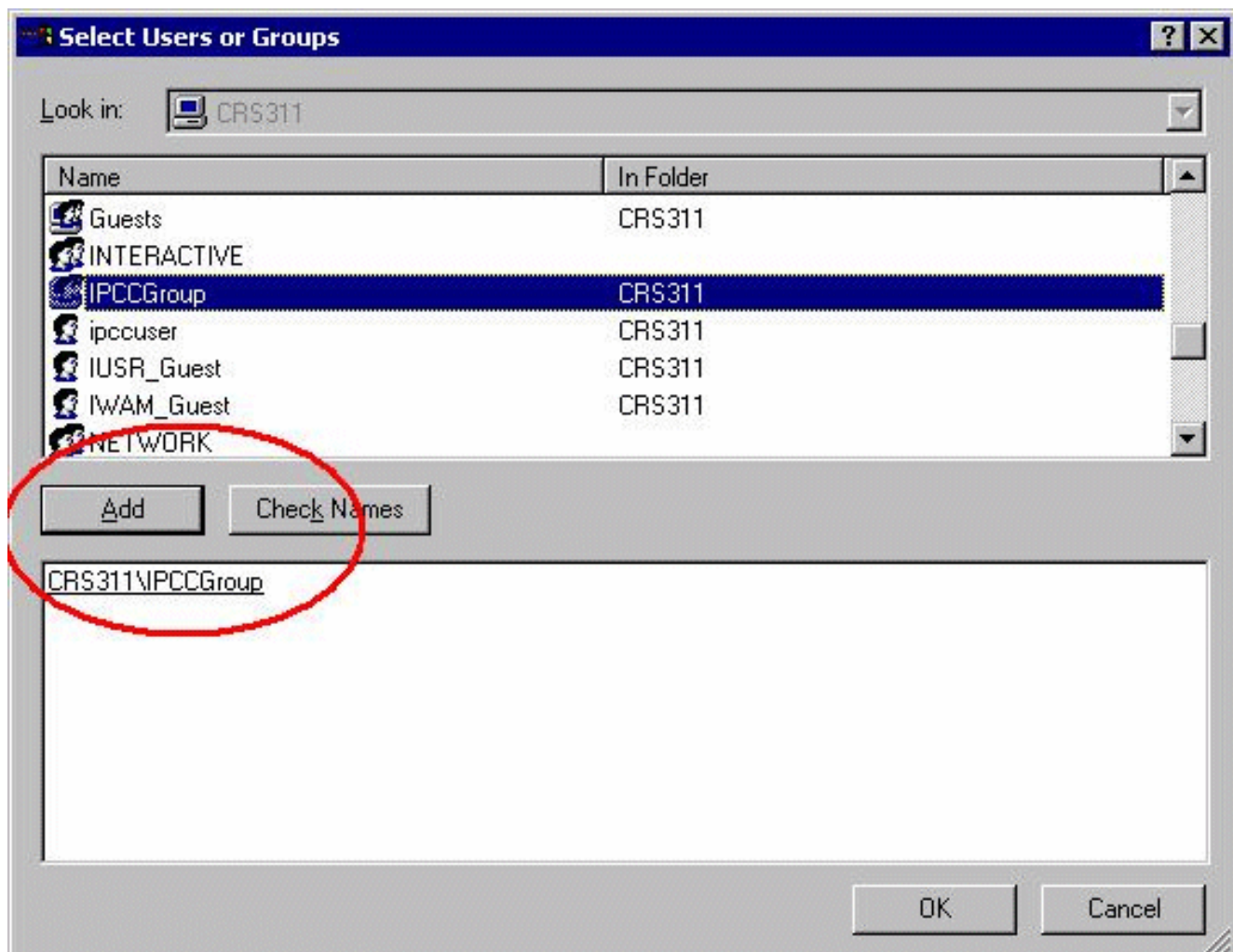
## DESKTOP\_CFG 共有に権限を割り当てる

1. IPCC Express Server Desktop で [My Computer] を右クリックします。
2. [Explore] を選択します。
3. Windows Explorer ウィンドウが開いたら、c:\Program Files\Cisco フォルダを展開します。
4. 次に示すように、Desktop\_Config フォルダを右クリックします。
5. **Properties** を選択します。
6. [Security] タブをクリックします。
7. [Add] をクリックします。



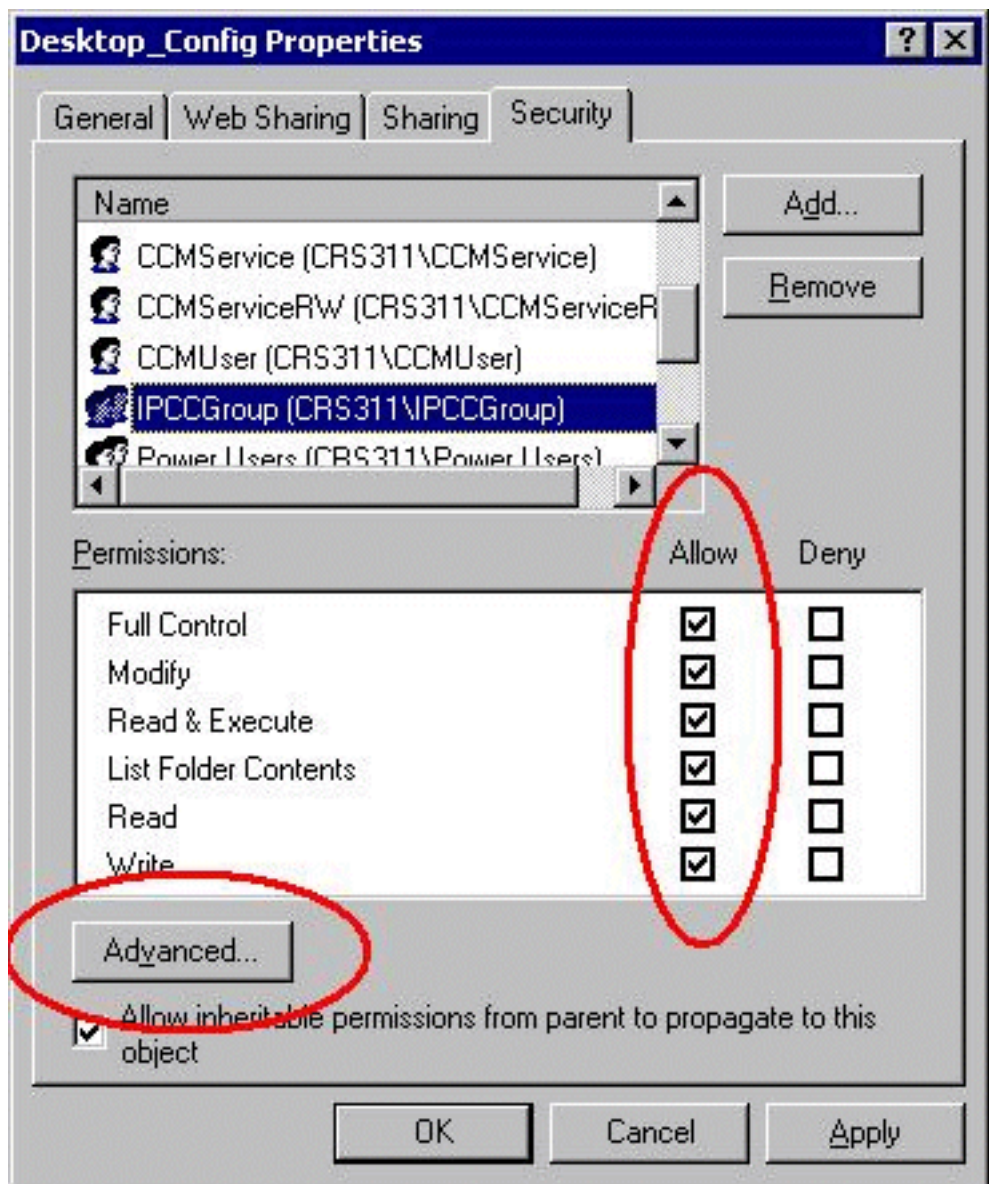
8. [Select Users or Groups] ダイアログボックスで、該当するグループを見つけます。
9. 次のウィンドウに示すように [Add] をクリックします。





10. [OK] をクリックして [Properties] ダイアログボックスに戻ります。

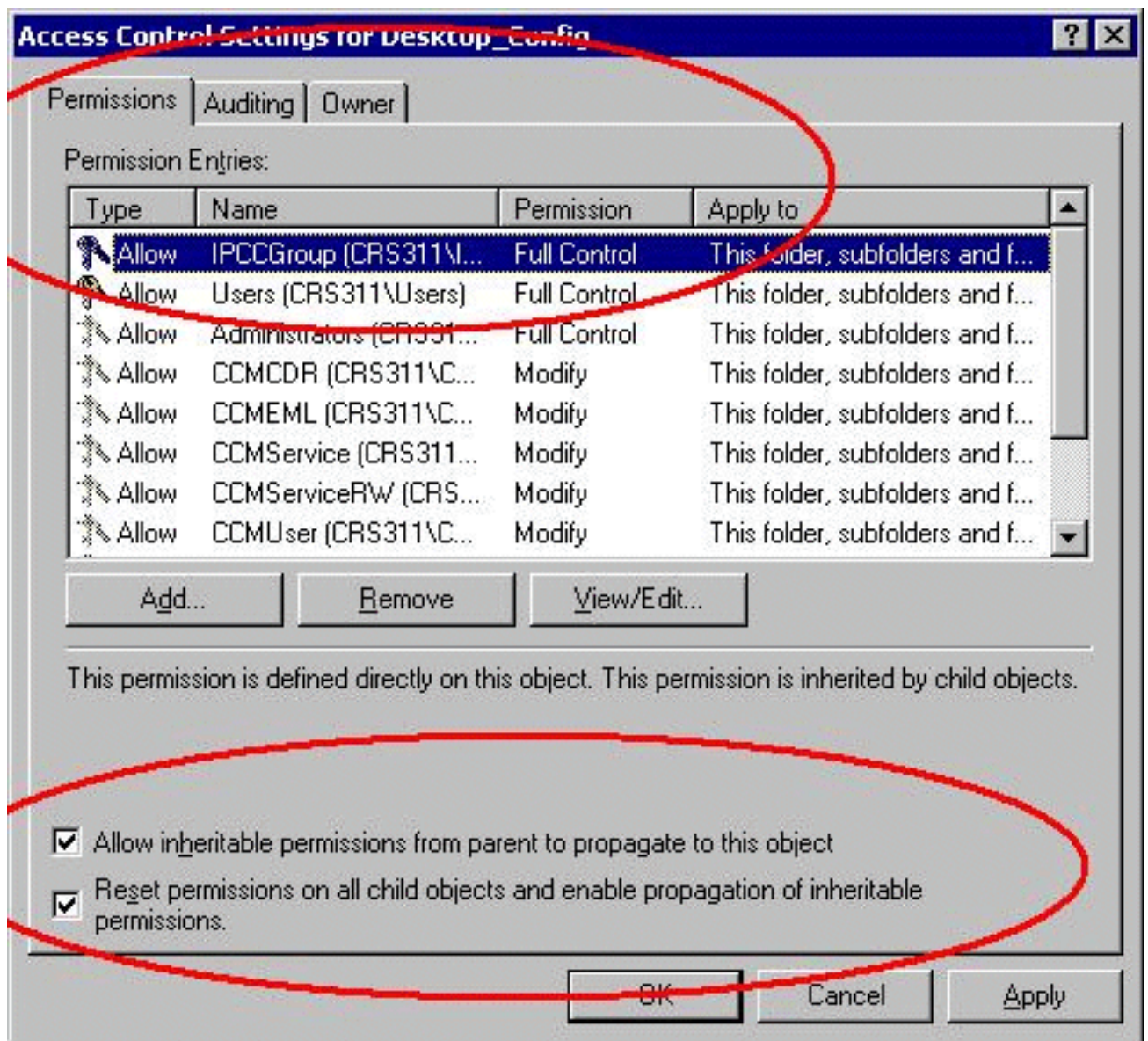
11. [\[Desktop Config Properties\] ウィンドウ](#)に示すように、[Full Control] チェックボックスをク



リックします。

12. [Apply] をクリックします。
13. [Advanced] をクリックします。
14. [Permissions Entries] ダイアログボックスで、[次に示すように](#) [Permission Entries] から適切なグループを選択し、[Allow inheritable permissions from parent to propagate to this object] および [Reset permissions on all child objects and enable propagation of inheritable permissions] の両方のチェックボックスをオンにします。





15. [Apply] をクリックします。
16. [OK] をクリックして閉じます。

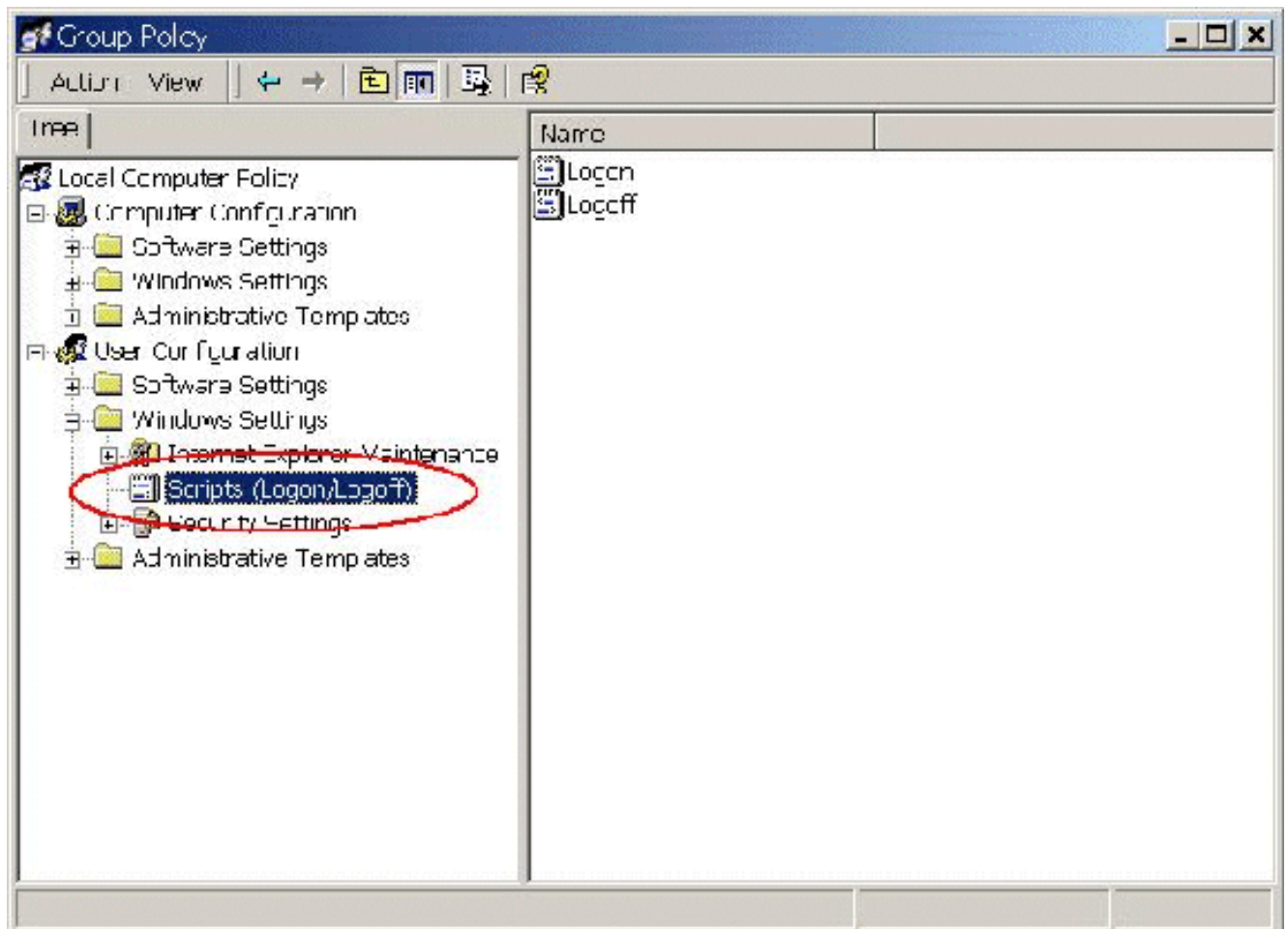
## Cisco Agent Desktop ワークステーションでバッチ ファイルを作成する

1. 常にネットワークに存在する Cisco Agent Desktop ワークステーションで、次の構文を使ってテキスト ファイルを作成します。

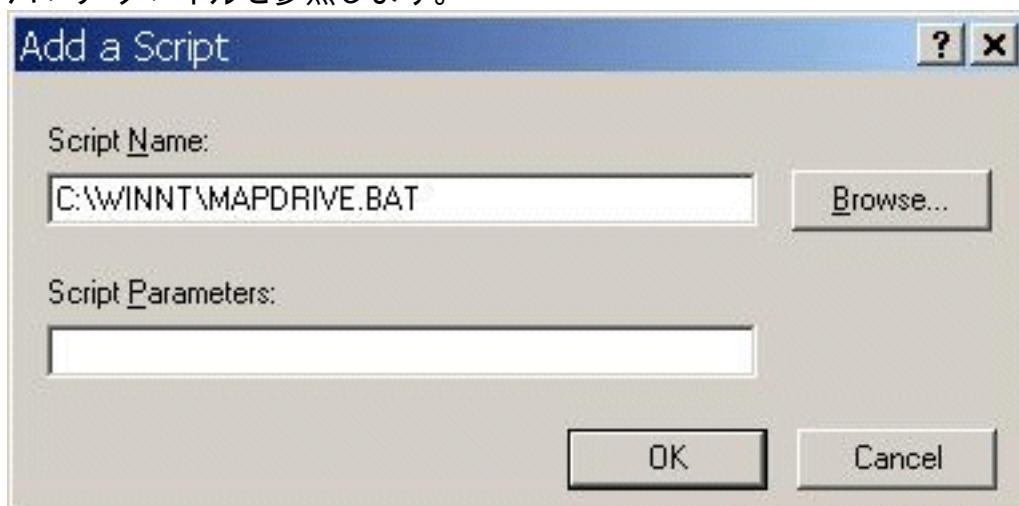
```
net use <x>: \\<servername>\DESKTOP_CFG <pwd> /user:<user>
```
2. このファイルをバッチ ファイルとしてマシンの C: ドライブに保存します。、またはどこかにそれを見つけること容易駆動して下さい (たとえば: c:\WINNT\mapdrive.bat)。

## ワークステーションのグループ ポリシーの編集

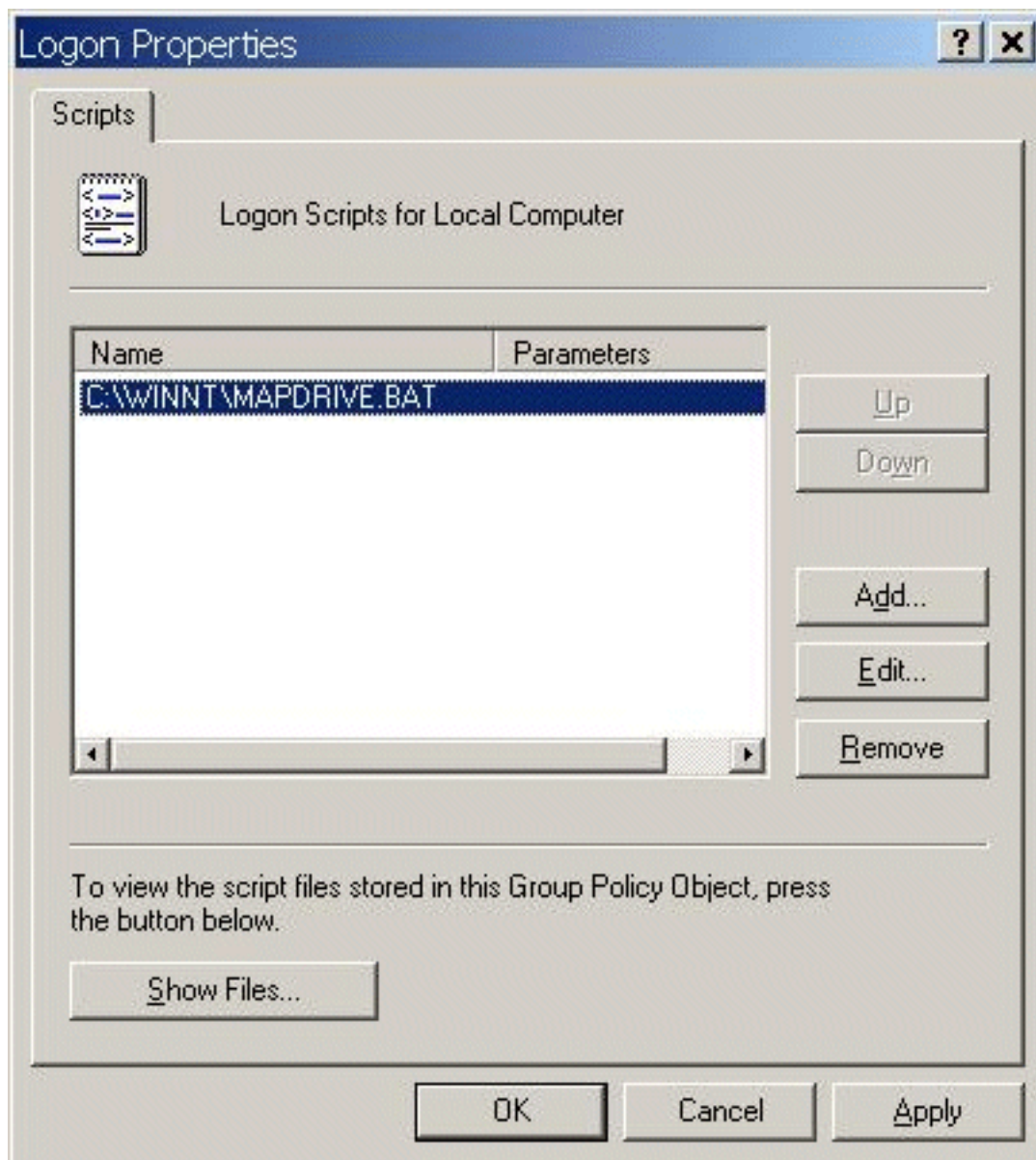
1. コマンド プロンプトを開き、[Start] > [Run] をクリックします。
2. [Run] ダイアログボックスで **gpedit.msc** と入力します。
3. [Enter] をクリックすると、[Group Policy] 編集ウィンドウが表示されます。



4. [User Configuration] の下で [Windows Settings] を展開し、[Scripts (Logon/Logoff)] を選択します。
5. 右側の [Login] アイコンをダブルクリックします。
6. [Add] をクリックして、新しいログイン スクリプトに追加します。
7. [次に示すように](#)、Cisco Agent Desktop で [Create Batch File] の上のセクションで作成したバッチ ファイルを参照します。



8. [OK] をクリックします。注: 次の[ウィンドウ](#)にスクリプト リストが表示されます。



9. [OK] をクリックします。

10. グループ ポリシー エディタを終了します。

11. ワークステーションを再起動すると、ポリシーが自動的に適用されます。  
ネットワークに再度ログインすると、ドライブがマップされます。

注: ネットワークが使用不能の場合、ドライブはマップされません。

## 関連情報

- [Cisco IPCC Express Edition - 技術リファレンス](#)
- [TAC 用の Cisco CallManager トレースのセットアップ](#)
- [AVVID TAC ケース：トラブルシューティング情報の収集](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)